

國澤清典先生のご逝去を悼む

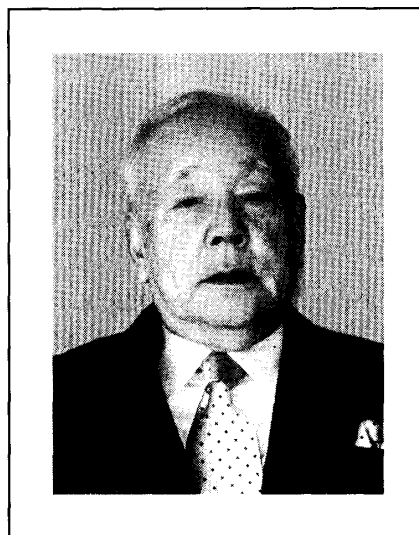
2010年8月11日朝、國澤清典先生がご逝去されました。享年94歳でした。國澤先生は、70年近くの長きにわたり、関数解析学、確率論、統計学、情報理論およびオペレーションズ・リサーチの分野の第一線で教育・研究に多大な業績を挙げてこられました。また、本誌の前身である「オペレーションズ・リサーチ」誌（日科技連）の編集委員長を長く務められ、OR学会の創立にも深く関与されるなど、まさに日本のORの黎明期からその発展に大きな貢献をしてこられました。

國澤先生のご業績は真壁肇・森村英典両先生により本誌2008年11月号に詳細に紹介されておりますが、確率論における平均濃度関数の導入による極限定理の展開、情報理論における相対情報路容量を求めるアルゴリズム、「國澤のエントロピー・モデル」として知られているシェア予測の方法、さらに、時間軸をスライドさせながらデータを貼り合わせる時系列予測の「貼り合わせ法」などで顕著な成果を挙げられました。

國澤先生は、数学科のご出身であります。実務家の方々との交流も深く、現実の問題への応用を常に強く意識しておられました。そんな先生が、あるとき、「今になってようやく応用の難しさがわかってきた。若い時に企業などで指導をしていた頃のことを恥ずかしく思うことがある」と話され、先生が至られた境地の深さを改めて痛感したものです。

先生は、昭和45年に東京工業大学に日本で初めて情報科学科を設立され、定年でご退官後、東京理科大学にも同名の学科を作られました。情報科学科を東工大に作られた頃のご苦労話は先生ご自身からも周りの先生方からも折に触れて伺っておりましたが、この大事業を成し遂げられたのは、やはり先生のお人柄によるところが大であると思います。

國澤先生は東工大、理科大の双方で多くの門下生を輩出しておられますが、3、4年前まで夏合宿と称して八ヶ岳周辺で卒業生とともにゴルフを楽しまれ、また、今でも年末には恒例の國澤研忘年会が開かれており、皆、先生にお目にかかるのを楽しみにしてきました。人間味あふれる偉大な先生への名残りは尽きません。



先生がご家族に遺されたお言葉は「楽しい人生だった」だそうです。先生のご冥福を心よりお祈りいたします。
(堀部安一・神保雅一)

故國澤清典氏略歴

大正4年10月17日高知県に生まれる。

〔学 歴〕

昭和14年3月 大阪帝国大学理学部数学科卒業

〔職 歴〕

昭和14年4月 大阪帝国大学副手

昭和17年4月 大阪帝国大学助手

昭和19年12月 文部省統計数理研究所所員

昭和24年5月 東京工業大学助教授

昭和32年3月 東京工業大学教授

昭和45年4月 理学部に情報科学科新設

昭和51年4月 東京工業大学名誉教授

昭和51年4月 東京理科大学教授

理工学部情報科学科新設

昭和56年4月 東京理科大学嘱託教授

〔OR学会関係〕

フェロ－ 昭和47年度より

第8回普及賞 昭和58年度

機関誌編集委員 昭和32～34年度

評 議 員 昭和32～46、53～62年度、平成10～13年度

庶 務 理 事 昭和32～33年度

無 任 所 理 事 昭和39年度

副 会 長 昭和40年度

表 彰 委 員 昭和53～54年度

名 誉 会 員 平成7年度